

クラス番号	639	担当教員名	大藏真弓
テーマ	超高齢社会において、健康で安心して生活を続けるための高齢者支援を考える		
著書・論文 研究課題等	研究課題：高齢期の社会的孤立を予防するソーシャルワーク・アプローチ 在宅医療・介護連携における多職種協働チーム 論文：「ケアマネジメントにおけるネットワーキングの意義～研究会方式による実践事例を通して」（共著）日本福祉大学社会福祉論集（126），2012年 著書：『デンマークの選択・日本への視座』（共著）中央法規出版，2014年		

ゼミナール概要

キーワード：超高齢社会・地域包括ケアシステム・在宅医療・介護連携・ソーシャルワーク

目的、内容、方法等：

1) 目的と内容

みなさんが社会に出て就労すると、仕事を通して様々な課題にぶつかることとなります。ゼミの2年間を通して、組織や地域社会の中で、すすんで課題を発見し、自分で情報を集めて解決していくちからをつけていけるようにしたいと考えています。

2) 授業計画

- ① 3年次のゼミの前半では、テキストや新聞記事等をもとに、現代社会で起きている福祉課題について、話し合いやグループ学習を行いながら考えていきます。また、1人暮らし高齢者との交流会をはじめとしたフィールドワークを行います。
- ② 3年次の後半には、超高齢社会の福祉問題について関心を深めるために、資料や文献を集めてグループ研究を行います。高齢者、介護問題、少子化の影響など、研究テーマはみなさんの関心に合わせて設定します。
- ③ 4年次の前半は、研究テーマに合わせたフィールドワークと調査を行い、卒業論文を執筆します。卒業論文の完成は10月末を予定しています。社会福祉士国家試験に向けて、卒論提出後はゼミ内で受験対策講座を行います。

3) フィールドワークの方法と対象地

- ① 名古屋市M区における一人暮らし高齢者の方々との交流活動
一人暮らし高齢者と民生委員の方々が実施する会食会に、例年7月と2月の2回参加しています。地域社会でくらししている高齢者の方々とお会いし、レクリエーション活動をとおして、高齢者の地域生活と課題への理解を深めていきます。
- ② 地域包括ケアシステムと在宅医療・介護連携事業
私は郡市医師会のソーシャルワーカーとして勤務しており、在宅医療・介護連携に関する業務をしています。在宅医療の推進に向けて、地域を基盤とした医療・介護専門職のチームワーク、意思決定支援などの研修会を企画運営していますので、関心のある方には参加してもらいます。

4) 留意事項

ゼミ開講日以外にも、フィールドワークや調査を行います。通常のゼミの時間外に、交通費が必要な活動を行う場合があります。

担当教員からのメッセージ



ゼミ生のみなさんには「自分の頭で考え、自分の言葉で表現する。他の人の話をきく」ことの大切さを学んでほしいと思っています。好奇心を大切に、新聞やニュースから情報を得て、現代社会で起きている出来事に関心を向け、考える苦しみと楽しさを知ってもらいたいと思っています。

私は、大学生活の中心はたくさん考えて、たくさん遊ぶことだと思っています。本を読む習慣を身につけて、ゼミの中でみんなと話し合い、あちこち旅行にでかけて様々な体験を積み重ねてください。